

BOATMEN

NPO法人 石川県小型船安全協会会報「ボートメン」 28号 (2016年12月発行号)

Vol. **28**

トピックス …… 石川県総合防災訓練参加、ざぶん賞2016表彰式 など

活動報告 …… マリンレジャー安全推進旬間出動式、安全訓練、夏のイベント など

行政から …… 金沢・七尾海上保安部着任のご挨拶

ざぶん賞受賞作品 © ポートマンズエッセイ・**よみがえった海**



石川県総合防災訓練に参加。

9月6日 七尾市

石川県主催の本年度の総合防災訓練が、七尾市にて開催されました。昨年当会が石川県と締結した災害時協定を基に、海からの物資搬送の訓練に、能登支部の雌島クラブの会員ら4名が参加しました。

訓練は矢田新埠頭で行われ、当会の雌島クラブ所属の1隻が接岸し、物資の箱を積み下ろし、速やかにトラックに積載し、陸路で移動するまでの一連の行動を確認いたしました。

現場に立ち会われた隊長（谷本知事）に能登支部の左藤氏（当会監事）が訓練内容を説明いたしました。

広い港内に各関係機関の担当者が集まり、ヘリコプターも参加し各種訓練が行われました。



中学校への社会授業に協力。海上保安部の仕事について学びました。

12月5日 白山市立松任中学校

当会の海洋教育活動の一環として、当会手取会が白山市の松任中学校で行われる職業を知る社会授業「職業講話」に協力しました。

講師は金沢海上保安部に依頼。当日管理課長の柴田氏、および巡視船はくさんの海上保安官 相場氏に登壇いただきました。

日ごろ海上保安部の仕事を知る機会がない1年生の生徒約20名がライフジャケットの体験も含め受講しました。

海上保安部からも将来の職員となっていただけのような人材を募集するためにもたいへん有意義であるという評価をいただきました。



15回目を迎えた、ざぶん賞2016の表彰式が開催。各省庁からの賞も交付。

12月3日 金沢で表彰セレモニー開催

ざぶん賞の表彰式が、金沢市文化ホールで開催されました。この事業は当会が、2002年の「海の祭典」で1回目を開催、その後他県にも広がり、発展を続け、今回15回目を迎えました。全国の小中学生から約10,000の、海や水に関する作文の応募がありました。

委員長の月尾嘉男氏（東京大学名誉教授）、顧問の馳 浩氏、来賓を代表して金沢市長の山野之義氏からあいさつを、また、国会議員で関係省庁の要職を歴任された北村茂男氏、山田修路氏にもご列席いただきました。その後各入選者に順に賞が授与されました。



文部科学大臣賞、環境大臣賞、水産庁長官賞、海上保安庁長官賞が交付。

節目となる今回は、新たに後援をいただいている文部科学省、環境省、水産庁、および海上保安庁から大臣賞や長官賞の各賞が交付されました。

海上保安庁長官賞は、金沢海上保安部長の渡部氏から授与されました。

石川県内の入選者には、県知事賞、県教育委員会賞、金沢市長賞、うみまる賞（金沢、七尾両海上保安部長表彰）、ソロプチミスト金沢賞がそれぞれ渡されました。



当会の体験事業参加者も受賞。歴代の受賞者も参加。

今回も当会員の協力により、各市町からも応募があり、全国賞や県内の賞に数点選ばれました。今回は加賀マリンクラブ主催の体験航海に参加し書かれた小学生も受賞しました。

今回はかつての受賞者が成長し、表彰式をお手伝い。

ざぶん賞は、単に募集や表彰するだけでなく、これまで参加した各小中学生が、考えを持った成人になることが目的です。成長し、全国各地でかつての受賞者の方々が活躍しているとの情報も徐々に得られるようになりました。

総会開催。事業計画・予算が承認。

2月27日 金沢市で

総会は、会員、および来賓の皆様、約70名が出席し、開催されました。岡川会長は、県と災害協定を締結し、訓練にも参加するようになったことや、係留問題も梯川に暫定施設ができたこと、また、ぎぶん賞が評価されてきたことなど、徐々に活動の成果が得られているとし、海の仲間としてさらに団結し新たな入会を促進することなどの考えを述べました。

議案審議では、引き続き安全指導、パトロールの活動強化、ライフジャケットの着用徹底を県内各地で行うこと、係留保管場所整備、海洋体験推進事業、文化創造事業などの計画が承認されました。

また、役員が任期を迎え、改選されました。



●理事(新任)

表 裕(小松マリクラブ)、松村 政揮(中居マリン協会)、皆川 恵太(雌島クラブ)

●理事(退任)

川尻 和良(雌島クラブ)、河端 政雄(中居マリン協会)
川原 末吉(小松マリクラブ)

●監事(新任)

木下 郁雄(小松マリクラブ)

●監事(退任)

畑 孝到(さざなみマリクラブ)

●評議員(新任)

坂 登三雄(長浜マリン協会)、中野 博(大協マリクラブ)
世川 馨(橋立マリクラブ)

マリンレジャー安全推進週間出動式

4月28日 金沢港で (金沢支部)

金沢支部は、大型連休前のマリンレジャー安全推進週間の出動式を、金沢海上保安部の協力のもと行いました。

会員18名が参加、金沢港護岸周辺と、港内のパトロールを行い、レジャー活動者に安全の指導を行いました。



全国海難防止強調運動合同出動式

7月16日 七尾港で (能登支部)

7月16日～31日に、全国一斉に行われた海上保安庁の海難防止強調運動で、穴水、七尾地区の合同出動式を開催。七尾海上保安部の協力のもと行いました。

中居マリン協会、七尾マリン協会、雌島クラブの会員が参加。港内のパトロールや安全訓練を行いました。



各地で合同安全訓練、講習会を実施。

6月5日 小松安宅沖

小松安宅で水難救済所との合同海難訓練を実施しました。会員約60名、19隻が参加。地域の警察や消防等と連携し、行方不明者搜索、海中転落者救助、発炎筒点火等の訓練を実施しました。

6月25日 羽咋滝港

滝港にて羽咋マリクラブは、羽咋救難所との合同のパトロール、および海難訓練を実施。金沢海上保安部の巡視艇かがゆきも参加し、実施しました。



9月24日 珠洲沖、11月27日 輪島沖、

輪島マリクラブ、長浜マリクラブはそれぞれ輪島、珠洲で各救難所との合同訓練や安全講習会を行いました。



海難講習会
長浜マリクラブ



夏の海洋体験イベントを各地で開催。 トライアスロン珠洲大会にも協力。

ボート天国・マリンスポーツチャレンジデー
7月18日 七尾港

恒例となった七尾港の体験航海「ボート天国」が開催されました。多くのご家族や子供たちがボートやヨット、カヤックなどを体験しました。七尾マリン協会、雌島クラブが協力しました。



親子ボートフィッシング、体験クルージングを開催
7月24日 小松・美川・加賀で

加南支部の小松マリンクラブ、手取会、および加賀マリンクラブがそれぞれ小松、白山（美川）、加賀の沖合で、親子を対象としたボートフィッシング大会を開催しました。キス釣りやクルージングを体験しました。

美川では、白山市の海山交流を目的とし、同市吉野谷地区の親子を招待し、手取会の会員艇に乗合い、美川沿岸をクルージングする事業も行いました。



トライアスロン大会
8月28日、29日 珠洲 鉢ヶ崎

約1,600人が参加するトライアスロン珠洲大会に、今年も長浜マリン協会の皆様が、スイム競技の海上安全の確保に協力いたしました。メンバー 20人（隻）が各配置にて監視しました。

県民の森の植樹、草刈りを継続。クリーンビーチにも参加。

5月12日、26日 山中県民の森

大協マリンクラブは、毎年の恒例事業となっている、山中県民の森での草刈りを実施しました。

災害時の洪水を防ぐことや、魚に必要な川への養分を蓄えることが目的です。特に急斜面の森林再生に絞り、作業が難しく、また木も育ちににくい場で粘り強く活動しています。



5月29日 金沢

金沢支部は今年もクリーンビーチに協力しました。45名が金石、内灘地区の海岸、河川で、清掃活動を行いました



海面利用協議会に協力。いか釣り船の集魚灯、沿岸部の漁獲などについて。

2月23日 七尾市、3月18日 石川県庁

七尾市の佐々波漁港にて本年度の海面利用協議会が開催。能登支部、金沢支部の会員らが出席しました。後日、石川県庁で行われた委員会では、当会理事の濱田氏が代表し出席しました。会では主にイカ釣りに係る光量についての再確認。またレジャーのサザエ漁の取り締まりなどについて意見交換をしました。



スナップ

石川県総合防災訓練(七尾市)
左藤監事が隊長(知事)らに報告説明



海難訓練
小松美川救難所合同
(安宅沖)



親子ポートフィッシング、体験クルージング(小松・美川)



総会 顧問 佐々木 紀氏、北村 茂男氏ご挨拶



ポート天国
マリンレジャーチャレンジデー
(七尾港)



ざぶん賞2016
全国表彰セレモニー
(金沢)



海上保安部による職業講話
(白山市 松任中学校)



編集後記 このごろブリやイカ採れなくなった、新幹線ができてカニやノドグロが高くなった・・・などという話が聞こえてきます。四季を通じて豊かな海の恵みをもつ我が石川県ですが、海産物はいろいろな環境の変化で量や価格が変わってきます。あのナホトカ号の事故から20年を迎えます。石川県の海岸も重油に包まれ、冬の寒い中近隣住民や多くのボランティアが除去に連日尽力されました。過労で亡くなられた方もいらっしゃいます。元の美しく資源豊かな海に戻すために。新幹線が開通し、他県から来られた皆さんの多くが「魚が美味しいね」とおっしゃいます。先人たちが守り、時には命をかけ再生してきたこの素晴らしい自然と平和な社会。子供たちに受け継がれますようお願いいたします。